

子供の理科離れが叫ばれはじめて久しく経ちますが、一向に改善の兆しは見えてきません。

最近では大学発や科学館発の理科教育支援活動が登場してきましたが、
企業が Corporate Social Responsibility の一環として実施する理科教育、
あるいはその支援活動も今後は重要になるのではないのでしょうか。

地域貢献シンポジオン

地域の理科教育をめぐって

2007年

11/24
(土)

第1部

「流れと遊ぼうコンテスト」見学会

10:00
16:00

場 所：調布市立第一小学校（電通大向かい）
主 催：（社）日本流体力学会
共 催：電気通信大学地域貢献部門、調布少年少女発明クラブ（電通大子供発明クラブ）
協 力：調布市立第一小学校
実行担当：電気通信大学大学院電気通信学研究科宮寄研究室
講 師：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

第2部

ワークショップ

「地域への理科教育：CSRの新しい可能性」

15:00
17:30

場 所：電気通信大学東6号館803会議室 主 催：電気通信大学地域貢献部門
開会の辞：林 茂雄（電気通信大学地域貢献部門長、調布少年少女発明クラブ会長）

- 1) CSRと大学の地域貢献 ……福田 豊（電気通信大学電気通信学部教授）
- 2) 東芝科学館の地域社会における社会貢献活動の紹介
……小宮 雅紀（(株)東芝 東芝科学館館長、小向東芝少年少女発明クラブ副会長）
- 3) 学校外での理科教育支援活動 — 企業の社会貢献活動支援を受けながら
……桑門 聡（(財)豊田理化学研究所理事、刈谷少年発明クラブ会長）
- 4) アジレント・テクノロジーの理科教育支援活動
……小西 正之（アジレント・テクノロジー(株)企画・広報部長）
- 5) 小中学校の教育現場から見た地域理科教育
……吉川 光子（前渋谷区立富谷小学校長、手創りサイエンスミュージアム）